

【第1部】

出演者による楽しいお話

金剛 永謹

片山九郎右衛門

茂山千三郎

他

【第2部】

狂言 千鳥

太郎冠者 茂山千三郎

主人 茂山童司  
酒屋 茂山七五三

後見 鈴木 実

【あらすじ】

主人から来客があるので、酒を一樽求めて来いと命じられた太郎冠者。しかし長く支払いをしていないので、酒屋はしぶって売ってくれません。太郎冠者は「今回分の代金は持ってきた」と言つて、なんとか酒樽を出してもらいます。早速その酒樽を持って帰ろうとする太郎冠者ですが、そうは酒屋が許しません。酒屋が話好きなことを知っている太郎冠者は、この前行った尾張の津島祭の話をしてどうにか酒屋の気を逸らそうとしますが、太郎冠者と酒屋の必死のかけひきが始まります。

ツレ 金剛龍謹

前シテ 金剛永謹

後シテ 片山九郎右衛門

能 舍利

小林 努

河村 大  
曾和鼓堂

前川光長  
杉 信太郎

間 茂山千三郎

豊嶋幸洋

大江広祐

分林道治

後見 廣田幸稔

地謡 河村和貴

古橋正邦

豊嶋晃嗣

梅田嘉宏

味方 玄

働き 山田伊純

惣明貞助

【あらすじ】

都を見物しようと京都へやってきた出雲の僧が、十六羅漢や仏舎利を見るため泉涌寺を訪れました。寺の僧の案内で、仏を拝んで感激していると「寺の近くに住んでいる」という男がやって来て、一緒に舍利を拝み始めます。その男は仏舎利のありがたいわれを語っていました。空がかき曇り、稲妻が光ると、男の顔は鬼と変わります。さらに「自分はこの舍利を望んでいた昔の足疾鬼の執心である」と言い、仏舎利を奪って飛び去ります。(中入)  
僧は物音に驚いて駆けつけた寺の僧から「釈迦入滅の時に足疾鬼という外道が釈迦の齒を盗んで飛び去ったが、韋駄天という毘沙門の弟である足の速い仏が、奪われた釈迦の齒を取り返した」という話を聞きます。二人が祈ると韋駄天が現れ、韋駄天は足疾鬼を追いつめ仏舎利を取り返します。足疾鬼は力尽き果てて逃げ去ります。

▼ お申込みについて

申込締切 2017年4月25日(火) 必着

お名前・ご住所・電話・FAX・メール・申込枚数をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申込みください。  
お申込みから3～4日以内に下記の口座に入場料をお振込みください。  
お振込みを確認しだい事務局よりチケットを郵送いたします。

**FAX** 075-251-0940 **メール** office@kyoto-lions.jp

**はがき** 604-0847 京都市中京区烏丸二条下る秋野々町 529 ヒロセビル8階  
京都ライオンズクラブ事務局

振込口座：京都銀行 京都駅前支店 普通 4711 京都ライオンズクラブ

FAX欄	名前	電話・FAX	メールアドレス	
	住所	連絡方法※ メール・電話・FAX		申込枚数 枚
	出演者への質問や聞いてみたい事など、ご自由にお書きください。			

(※) 先着受付順のため満員に達し、お申込みを受け付けられない場合のご連絡方法をお選びください